

研究科カリキュラム・ポリシー

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる医学・歯学・医療における学識と専門的スキルを修得した人材を育成するために、以下に示す方針に基づいて、科目の提供とヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に寄与するきめ細かい研究指導を行う教育課程（カリキュラム）を編成のうえ、実施します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成
 - (1)医学・歯学・医療における研究者・専門家になるために必要な基本的知識と技術のエッセンスを体系的・集中的に修得する必修科目および選択科目を提供します。
 - (2)高度な専門性を発揮できる実践的な能力を修得する科目を提供します。
 - (3)研究の遂行と発表により、専門分野における基礎的な研究能力と倫理的対応を修得する教育を展開します。
 - (4)地域と国際社会における課題を研究テーマとして取り上げ、研究指導と討議および研究者との交流を通して、社会への関心を高め、問題解決の手法を学ぶ教育を展開します。
2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施
学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。
3. 厳格な成績評価の実現
各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、全学の学位授与の方針及び医歯学総合研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

修士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、審査に合格した者に修士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展のために専門的知識と高度なスキルを応用できる能力
- 2) 専門家としての実践的な能力を活かして医科学、生命科学および医療の多様な分野で指導的役割を担いながら社会貢献できる能力
- 3) 広い視野と高い倫理観を有し、法令や各種指針等を遵守して、専門的知識と高度なスキルを専門家としての実践と研究に応用できる能力
- 4) 地域と国際社会の発展に貢献するために医学・歯学・医療の動向に関心を寄せ、文化の多様性を受入れ、課題に取り組むことができる能力

カリキュラム・マップ

(1) 先端バイオサイエンスコース

・科目名 ■ 科目区分

CP	1年		2年		DP	
	前期	後期	前期	後期		
1-(1)	■必修科目 ・人体の構造と機能 ・分子細胞医学総論 ・疾病論・病因論・予防論	■選択必修科目 ・英語で学ぶ生命科学 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 ・疫学基礎*2	■選択必修科目 (実習/演習) ・医学生物学データ解析演習 ■選択必修科目 ・神経科学入門*2 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3	■選択必修科目 ・感染と生体防御 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 ・疫学基礎*2	■選択必修科目 ・神経科学入門*2 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3	1
1-(2)	■必修科目 (実習/演習) ・バイオサイエンス実習	■選択必修科目 ・分子薬理学・創薬科学 ・再生・先端医療学 ・顎顔面放射線学	■自由科目 (実習/演習) *1 ・高度メディカル実習 ・人体解剖実習	■自由科目*1 ・臨床薬理学概論 ・臨床病態学 ・離島・地域医療学	■自由科目*1 ・臨床医学*2	2
1-(3)	■必修科目 ・生命医療倫理学					3
1-(4)	■必修科目 ・医科学研究 (A)		■選択必修科目 ・先端医科学研究			4
	■必修科目 ・医科学論		■自由科目*1 ・災害医療学*2		■自由科目*1 ・災害医療学*2	

*1: 修了要件単位には含まれない。
 *2: 1年次でも2年次でも履修可能。
 *3: 前期でも後期でも履修可能。

(2) 高度メディカル専門職コース

・科目名 ■ 科目区分

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
1-(1)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造と機能 ・分子細胞医学総論 ・疾病論・病因論・予防論 ■自由科目*1 <ul style="list-style-type: none"> ・英語で学ぶ生命科学 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 ・疫学基礎*2 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 (実習/演習) <ul style="list-style-type: none"> ・医学生物学データ解析演習 ■自由科目*1 <ul style="list-style-type: none"> ・神経科学入門*2 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・感染と生体防御 ■自由科目*1 <ul style="list-style-type: none"> ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 ・疫学基礎*2 	<ul style="list-style-type: none"> ■自由科目*1 <ul style="list-style-type: none"> ・神経科学入門*2 ・英語で読む神経生物学の原理*2*3 	1 2 3 4
1-(2)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 (実習/演習) <ul style="list-style-type: none"> ・高度メディカル実習 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床薬理学概論 ・臨床法医学*2 ■自由科目 (実習/演習) *1 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオサイエンス実習 ・人体解剖実習 ■自由科目*1 <ul style="list-style-type: none"> ・分子薬理学・創薬科学 ・再生・先端医療学 ・顎顔面放射線学 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床病理学 ・離島・地域医療学 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床法医学*2 	
1-(3)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・生命医療倫理学 				
1-(4)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・医科学研究 (B) 		<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療学研究 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・医科学論 		<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療学*2 		

*1: 修了要件単位には含まれない。
*2: 1年次でも2年次でも履修可能。
*3: 前期でも後期でも履修可能。

(3) グローバル医科学コース

・科目名 ■ 科目区分

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
1-(1)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Structure and the Function of the Human Body (人体の構造と機能) ・ Introduction to Molecular and Cellular Medicine (分子細胞医学総論) ・ Nosography・ Etiology・ Preventive Medicine (疾病論・病因論・予防論) ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Learning Life Science in English (英語で学ぶ生命科学) ・ Reading the Principles of Neurobiology *2*3 (英語で読む神経生物学の原理) ・ Basic Epidemiology (疫学基礎【グローバル医科学】)*2 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 (実習/演習) <ul style="list-style-type: none"> ・ Statistical Analysis of Medical and Biological Data (医学生物学データ解析演習) ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Introductory neuroscience (神経科学入門)*2 ・ Reading the Principles of Neurobiology *2*3 (英語で読む神経生物学の原理) 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading the Principles of Neurobiology *2*3 (英語で読む神経生物学の原理) ・ Basic Epidemiology (疫学基礎【グローバル医科学】)*2 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Introductory neuroscience (神経科学入門)*2 ・ Reading the Principles of Neurobiology *2*3 (英語で読む神経生物学の原理) 	1 2 3 4
1-(2)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Bioscience Practice (バイオサイエンス実習) 	<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Molecular Pharmacology and Drug Discovery Science (分子薬理学・創薬科学) ・ Regenerative and Advanced medicine (再生・先端医療学) 			
1-(3)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Ethics and Science 				
1-(4)	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Medical Science Reserch (医科学研究 (A)) 		<ul style="list-style-type: none"> ■選択必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Advanced Medical Reserch (先端医科学研究) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■必修科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Medical Science Lecture (医科学論) 				

*2: 1年次でも2年次でも履修可能。
*3: 前期でも後期でも履修可能。

●修士論文審査のスケジュール

	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
		中間発表会		論文発表会

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1)	<p>■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義</p> <p>■共通コア科目（選択） 科学倫理学基礎論 / 医療者教育学入門 / 生命科学英語 / Life Science English / Immunobiology / 細胞増殖制御 / 皮膚分子・病態学 / 先端医療学 / Introduction to Scientific Writing / ニューロサイエンス / ウイルス感染症の基礎と臨床</p> <p>■共通先端科目 臨床疫学 / 医療情報・統計学 / 咬合育成論A / 咬合育成論B / 先端分子細胞医学 / 歯科応用薬理学（1） / 顎機能補綴学 / 顎口腔機能再建学（1） / 顎口腔機能再建学（2） / 顎口腔機能再建学（3） / う蝕制御学 / 歯髄生物学 / 口腔疾患病態学 / 口腔顎顔面外科学（1） / 歯科麻酔学概論 / バイオフィォーマティクスと医学研究 / 分子腫瘍学（1） / 疫学入門 / ウイルス感染症の研究講義</p> <p>■専門基礎科目 消化器病学・生活習慣病学 / 糖尿病・内分泌内科学 / 疫学 / 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 法医学特講 / 精神医学概論特講 / 行動医学 / 医療者教育学 I / 歯科医療行動科学 / 微生物学特講 / 免疫学特講 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テクノロジ / HTLV-1病学 / 分子生化学演習 / 生殖病態生理学 / 小児科学 / 小児病態学 / 小児発達病態学 / 口腔分子細胞学 / 細菌学特講 / 口腔保健推進学 / 口腔マネージメントによる口腔衛生と感染制御 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学概論 / 離島医療学特論 I / 機能形態学基礎 / 脳科学 / 顎顔面神経解剖学 / 顎顔面生体力学 / 脳神経発達特論 / 視覚形態・機能学 / 視覚分子・病態学 / 皮膚形態・機能学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 機能形態学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 分子病態学 / 遺伝子治療・再生医学 / 感覚運動機能疾患制御学 / リハビリテーション医学 / 血管代謝病態解析学 / 心臓血管内科学 / 循環器内科学 / 呼吸器内科学 / 統合分子生理学 / 分子情報薬理学 / 侵襲制御学 / 侵襲制御学 2 / 侵襲制御学 3 / 救急集中治療医学特論 I / 救急集中治療医学特論 II / 薬物動態制御学 / 歯科応用薬理学（2） / 口腔生理学 / 生体材料学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周疾患制御学 / 顎顔面腫瘍制御学 / 口腔顎顔面外科学（2） / 歯科全身管理学 / 放射線診断治療学 / 泌尿器系腫瘍学 / 頭頸部腫瘍病理学 / 顎顔面放射線学 / 心臓血管外科学 / 呼吸器外科学 / 腫瘍制御学 / 小児外科学 / 神経体液性因子学 / 心血管病と神経体液性因子 / 血液腫瘍学 I / 血液腫瘍学 II / がん診療医学 I / がん診療医学 II / 先端がん医療学 / 神経生物学原理 / 疾病発症機構と予防論 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレーショナルメディスン</p> <p>■共通先端科目 データ解析演習 / 遺伝子操作法実習 / 生体材料学実習 / ニューロサイエンス実習</p>								1)	
	<p>■共通コア（選択必修） 医歯学倫理学 / Ethics and Science</p> <p>■専門科目（演習） 衛生学・健康増進医学演習 / 消化器疾患・生活習慣病学演習 / 糖尿病・内分泌学演習 / 疫学・予防医学演習 / 医療システム情報学演習 / 難治性血液免疫疾患病態制御学演習 / 法医学演習 / 精神機能病学演習 / 行動医学演習 / 医療者教育学演習 / 歯科医療行動科学演習 / 微生物学演習 / 免疫学演習 / 抗ウイルス療法学演習 / ウイルス情報テクノロジ演習 / 神経免疫学演習 / 分子病態生化学演習 / 生殖病態生理学演習 / 小児科学演習 / 硬組織の分子生物学演習 / 口腔細菌学演習 / 口腔保健推進学演習 / 顎顔面咬合育成学演習 / 小児歯科学演習 / 地域医療学演習 / 長寿口腔科学演習 / HTLV-1/ATL病態制御学演習 / トランスレーショナルメディスン演習</p> <p>■専門科目（実験） 衛生学・健康増進医学実験 / 消化器疾患・生活習慣病学実験 / 糖尿病・内分泌学実験 / 疫学・予防医学実験 / 医療システム情報学実験 / 難治性血液免疫疾患病態制御学実験 / 法医学実験 / 精神機能病学実験 / 行動医学実験・実習 / 医療者教育学実験 / 歯科医療行動科学実験 / 微生物学実験 / 免疫学実験 / 抗ウイルス療法学実験 / ウイルス情報テクノロジ実験 / 神経免疫学実験 / 分子病態生化学実験 / 生殖病態生理学実験 / 小児科学実験 / 硬組織の分子生物学実験 / 口腔細菌学実験 / 口腔保健推進学実験 / 顎顔面咬合育成学実験 / 小児歯科学実験 / 地域医療学実習 / 長寿口腔科学実験 / HTLV-1/ATL病態制御学実験 / トランスレーショナルメディスン実験</p>									2)
	<p>4)</p>									
	<p>2)</p>									4)
<p>5)</p>										
<p>6)</p>										

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP				
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
1)	■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義								1)				
	■共通コア科目（選択必修） 医歯学倫理学 / 科学倫理学基礎論												
	■共通コア科目（選択） 医療者教育学入門 / 生命科学英語 / Life Science English / Immunobiology / 細胞増殖制御 / 皮膚分子・病態学												
	■共通先端科目 臨床疫学 / 医療情報・統計学 / 咬合育成論A / 咬合育成論B / 先端分子細胞医学 / 歯科応用薬理学（1） / 顎機能補綴学 / 顎口腔機能再建学（1） / 顎口腔機能再建学（2） / 顎口腔機能再建学（3） / う蝕制御学 / 歯髄生物学 / 口腔疾患病態学 / 口腔顎顔面外科学（1） / 歯科麻酔学概論 / バイオインフォマティクスと医学研究 / 分子腫瘍学（1）												
6)	■共通先端科目 データ解析演習 / 遺伝子操作法実習 / 生体材料学実習								2)				
	■専門基礎科目 予防歯科学 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周病学 / 顎顔面疾患制御学 / 口腔顎顔面外科学（2） / 歯科麻酔全身管理学 / 顎顔面放射線学												
3)	■専門科目（演習） 口腔保健推進学演習 / 顎顔面咬合育成学演習 / 小児歯科学演習				■専門科目（臨床修練） 予防歯科学臨床修練 / 顎顔面咬合育成学臨床修練 / 小児歯科学臨床修練				3)				
4)	■共通コア（選択必修） 医歯学倫理学 / Ethics and Science												4)
2)													4)
5)													

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP				
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
1)	<p>■共通コア科目（必修） Medical and Dental research lectures</p> <p>■共通コア科目（選択） Introduction to Scientific Writing / Life Science English / ニューロサイエンス / ウイルス感染症の基礎と臨床</p> <p>■共通先端科目 Data analysis / Bioinformatics and medical research / Internship / ウイルス感染症の研究講義</p> <p>■共通先端科目 ニューロサイエンス実習</p> <p>■専門基礎科目 消化器病学 / 生活習慣病学 / 糖尿病・内分泌内科学 / 疫学 / 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 法医学特講 / 精神医学概論特講 / 行動医学 / 医療者教育学 I / 歯科医療行動科学 / 微生物学特講 / 免疫学特論 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テクノロジー / HTLV-1病学 / 分子生化学演習 / 生殖病態生理学 / 小児科学 / 小児病態学 / 小児発達病態学 / 口腔分子細胞学 / 細菌学特講 / 口腔保健推進学 / 口腔マネージメントによる口腔衛生と感染制御 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学概論 / 離島医療学特論 I / 機能形態学基礎 / 脳科学 / 顎顔面神経解剖学 / 顎顔面生体力学 / 脳神経発達特論 / 視覚形態・機能学 / 視覚分子・病態学 / 皮膚形態・機能学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 機能形態学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 分子病態学 / 遺伝子治療・再生医学 / 感覚運動機能疾患制御学 / リハビリテーション医学 / 血管代謝病態解析学 / 心臓血管内科学 / 循環器内科学 / 呼吸器内科学 / 統合分子生理学 / 分子情報薬理学 / 侵襲制御学 / 侵襲制御学 2 / 侵襲制御学 3 / 救急集中治療医学特論 I / 救急集中治療医学特論 II / 薬物動態制御学 / 歯科応用薬理学 (2) / 口腔生理学 / 生体材料学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周疾患制御学 / 顎顔面腫瘍制御学 / 口腔顎顔面外科学 (2) / 歯科全身管理学 / 放射線診断治療学 / 泌尿器系腫瘍学 / 頭頸部腫瘍病理学 / 顎顔面放射線学 / 心臓血管外科学 / 呼吸器外科学 / 腫瘍制御学 / 小児外科学 / 血液腫瘍学 I / 血液腫瘍学 II / がん診療医学 I / がん診療医学 II / 先端がん医療学 / 神経生物学原理 / 疾病発症機構と予防論 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレーショナルメディシン</p>								1)				
	3)	<p>■共通コア（選択必修） Ethics and Science</p>		<p>■専門科目（実験） 衛生学・健康増進医学実験 / 消化器疾患・生活習慣病学実験 / 糖尿病・内分泌学実験 / 疫学・予防医学実験 / 医療システム情報学実験 / 医療システム情報学実験 / 難治性血液免疫疾患病態制御学実験 / 法医学実験 / 精神機能病学実験 / 行動医学実験 / 医療者教育学実験 / 歯科医療行動科学実験 / 微生物学実験 / 免疫学実験 / 抗ウイルス療法学実験 / ウイルス情報テクノロジー実験 / 神経免疫学実験 / 分子病態生化学実験 / 生殖病態生理学実験 / 小児科学実験 / 硬組織の分子生物学実験 / 口腔細菌学実験 / 口腔保健推進学実験 / 顎顔面咬合育成学実験 / 小児歯科学実験 / 地域医療学実験 / HTLV-1/ATL病態制御学実験 / トランスレーショナルメディシン実験</p>						2)			
	4)	<p>■専門科目（演習） 衛生学・健康増進医学演習 / 消化器疾患・生活習慣病学演習 / 糖尿病・内分泌学演習 / 疫学・予防医学演習 / 医療システム情報学演習 / 難治性血液免疫疾患病態制御学演習 / 法医学演習 / 精神機能病学演習 / 行動医学演習 / 医療者教育学演習 / 歯科医療行動科学演習 / 微生物学演習 / 免疫学演習 / 抗ウイルス療法学演習 / ウイルス情報テクノロジー演習 / 神経免疫学演習 / 分子病態生化学演習 / 生殖病態生理学演習 / 小児科学演習 / 硬組織の分子生物学演習 / 口腔細菌学演習 / 口腔保健推進学演習 / 顎顔面咬合育成学演習 / 小児歯科学演習 / 地域医療学演習 / HTLV-1/ATL病態制御学演習 / トランスレーショナルメディシン演習</p>									3)		
	2)											4)	
	5)												
6)													

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	■共通コア科目 (必修) 医歯学研究講義								1)
	■共通コア科目 (選択) ニューロサイエンス								
	■共通先端科目 ニューロサイエンス実習								
	■専門基礎科目 消化器病学／生活習慣病学／糖尿病／内分泌内科学／精神医学概論特講／行動医学／機能形態学基礎／脳科学／顎顔面神経解剖学／脳神経発達特論／視覚形態・機能学／耳鼻咽喉科・頭頸部外科 形態機能学／感覚運動機能疾患制御学／リハビリテーション医学／統合分子生理学／分子情報薬理学／侵襲制御学／薬物動態制御学／口腔生理学								
6)	■専門科目 (演習) 衛生学・健康増進医学演習／消化器疾患・生活習慣病学演習／糖尿病・内分泌学演習／疫学・予防医学演習／医療システム情報学演習／難治性血液免疫疾患病態制御学演習／法医学演習／精神機能病学演習／行動医学演習／医療者教育学演習／歯科医療行動科学演習／微生物学演習／免疫学演習／抗ウイルス療法学演習／ウイルス情報テクノロジー演習／神経免疫学演習／分子病態生化学演習／生殖病態生理学演習／小児科学演習／硬組織の分子生物学演習／口腔細菌学演習／口腔保健推進学演習／顎顔面咬合育成学演習／小児歯科学演習／地域医療学演習／長寿口腔科学演習／HTLV-1/ATL病態制御学演習／トランスレーショナルメディスン演習								2)
	■専門科目 (実験) 衛生学・健康増進医学実験／消化器疾患・生活習慣病学実験／糖尿病・内分泌学実験／疫学・予防医学実験／医療システム情報学実験／難治性血液免疫疾患病態制御学実験／法医学実験／精神機能病学実験／行動医学実験・実習／医療者教育学実験／歯科医療行動科学実験／微生物学実験／免疫学実験／抗ウイルス療法学実験／ウイルス情報テクノロジー実験／神経免疫学実験／分子病態生化学実験／生殖病態生理学実験／小児科学実験／硬組織の分子生物学実験／口腔細菌学実験／口腔保健推進学実験／顎顔面咬合育成学実験／小児歯科学実験／地域医療学実験／長寿口腔科学実験／HTLV-1/ATL病態制御学実験／トランスレーショナルメディスン実験								
3)	■共通コア (選択必修) 医歯学倫理学								3)
4)									4)
2)									
5)									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探究する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義／ウイルス感染症の基礎と臨床								1)
	■共通コア科目（選択） Introduction to Scientific Writing / 生命科学英語								
	■共通先端科目（必修） ウイルス感染症の研究講義								
	■共通先端科目（選択） データ解析演習 / バイオインフォマティクスと医学研究								
6)	■専門基礎科目 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 微生物学特講 / 免疫学特論 / 疫学入門 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テクノロジー / HTLV-I病学 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレーショナルメディスン								2)
	■専門科目（演習） 血管代謝病態解析学演習 / 難治性血液免疫疾患病態制御学演習 / 微生物学演習 / 免疫学演習 / 疫学・予防医学演習 / 抗ウイルス療法学演習 / ウイルス情報テクノロジー演習 / 神経免疫学演習 / HTLV-1/ATL病態制御学演習								
3)	■専門科目（実験） 血管代謝病態解析学実験 / 難治性血液免疫疾患病態制御学実験 / 微生物学実験 / 免疫学実験 / 疫学・予防医学実験 / 抗ウイルス療法学実験 / ウイルス情報テクノロジー実験 / 神経免疫学実験 / HTLV-1/ATL病態制御学実験								3)
	■専門科目（演習） 医歯学倫理学								
4)									
2)									
5)									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	<p>■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義</p>								1)
	<p>■共通コア科目（選択） 科学倫理学基礎論 / 医療者教育学入門 / 生命科学英語 / Life Science English / Immunobiology / 細胞増殖制御 / 皮膚分子・病態学 / 先端医療学 / Introduction to Scientific Writing / ニューロサイエンス / ウイルス感染症の基礎と臨床</p>								
	<p>■共通先端科目 臨床疫学 / 医療情報・統計学 / 咬合育成論A / 咬合育成論B / 先端分子細胞医学 / 歯科応用薬理学（1） / 顎機能補綴学 / 顎口腔機能再建学（1） / 顎口腔機能再建学（2） / 顎口腔機能再建学（3） / う蝕制御学 / 歯髄生物学 / 口腔疾患病態学 / 口腔顎顔面外科学（1） / 歯科麻酔学概論 / バイオインフォマティクスと医学研究 / 分子腫瘍学（1） / 疫学入門 / ウイルス感染症の研究講義</p>								
	<p>■専門基礎科目 消化器病学 / 生活習慣病学 / 糖尿病・内分泌内科学 / 疫学 / 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 法医学特講 / 精神医学概論特講 / 行動医学 / 医療者教育学 I / 歯科医療行動科学 / 微生物学特講 / 免疫学特論 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テック / ロジック / HTLV-I病学 / 分子生化学演習 / 生殖病態生理学 / 小児科学 / 小児病態学 / 小児発達病態学 / 口腔分子細胞学 / 細菌学特講 / 口腔保健推進学 / 口腔マネージメントによる口腔衛生と感染制御 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学概論 / 離島医療学特論 I / 機能形態学基礎 / 脳科学 / 顎顔面神経解剖学 / 顎顔面生体力学 / 脳神経発達特論 / 視覚形態・機能学 / 視覚分子・病態学 / 皮膚形態・機能学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 機能形態学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 分子病態学 / 遺伝子治療・再生医学 / 感覚運動機能疾患制御学 / リハビリテーション医学 / 血管代謝病態解析学 / 心臓血管内科学 / 循環器内科学 / 呼吸器内科学 / 統合分子生理学 / 分子情報薬理学 / 侵襲制御学 / 侵襲制御学 2 / 侵襲制御学 3 / 救急集中治療医学特論 I / 救急集中治療医学特論 II / 薬物動態制御学 / 歯科応用薬理学（2） / 口腔生理学 / 生体材料学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周疾患制御学 / 顎顔面腫瘍制御学 / 口腔顎顔面外科学（2） / 歯科全身管理学 / 放射線診断治療学 / 泌尿器系腫瘍学 / 顎頭部腫瘍病理学 / 顎顔面放射線学 / 心臓血管外科学 / 呼吸器外科学 / 腫瘍制御学 / 小児外科学 / 血液腫瘍学 I / 血液腫瘍学 II / がん診療医学 I / がん診療医学 II / 先端がん医療学 / 神経生物学原理 / 疾病発症機構と予防論 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレショナルメディスン</p>								
3)	<p>■共通先端科目 データ解析演習 / 遺伝子操作法実習 / 生体材料学実習 / ニューロサイエンス実習</p>								2)
	<p>■共通コア（選択必修） 医歯学倫理学 / Ethics and Science</p>								
4)	<p>■専門科目（演習） 機能形態学演習 / 神経筋生理学演習 / 神経疾患学・老年病学演習 / 脳神経外科学演習 / 顎顔面に依る神経の機能形態学演習 / 顎顔面口腔領域の内眼解剖学演習 / 法医学の理論と実践演習 / 眼科病態学演習 / 皮膚病態解析学演習 / 上気道病態学演習 / 遺伝子治療・再生医学演習 / 感覚運動機能疾患制御学演習 / リハビリテーション医学演習 / 血管代謝病態解析学演習 / 循環器疾患学演習 / 呼吸器病学演習 / 統合分子生理学演習 / 分子神経生物学演習 / 生体情報薬理学演習 / 生体機能学演習 / 救急集中治療学演習 / 薬物動態制御学演習 / 記憶成立と記憶障害の薬理学演習 / 口腔生理学演習 / 歯科生体材料学演習 / 固定性歯科補綴治療学演習 / 口腔顎顔面形態・機能再建学演習 / 歯科保存学演習 / 歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学演習 / 顎顔面腫瘍発生病態解析学演習 / 口腔顎顔面外科学演習 / 歯科全身機能管理制御学演習 / 腫瘍病態病理学演習 / 放射線診断治療学演習 / 泌尿器系腫瘍学演習 / 分子腫瘍学演習 / 口腔腫瘍発生論演習 / 口腔腫瘍治療学・診断学演習 / 心臓血管外科学演習 / 呼吸器外科学演習 / 腫瘍制御学演習 / 小児外科学演習 / 異種移植外科免疫学演習 / 血液腫瘍学演習 / がん診療医学演習 / 総合救命救急医学 I 演習 / 新生児病学演習 / 総合がん診療医学 I 演習 / 総合診療学における循環器病学演習</p>				<p>■専門科目（実験） 機能形態学実験 / 神経筋生理学実験 / 神経疾患学実験 / 脳神経外科学実験 / 顎顔面に依る神経の機能形態学実験 / 顎顔面口腔領域の内眼解剖学実験 / 法医学の理論と実践実験 / 眼科病態学実験 / 皮膚病態解析学実験 / 上気道病態学実験 / 遺伝子治療・再生医学実験 / 感覚運動機能疾患制御学実験 / リハビリテーション医学実験 / 血管代謝病態解析学実験 / 循環器疾患学実験 / 呼吸器病学実験 / 統合分子生理学実験 / 分子神経生物学実験 / 生体情報薬理学実験 / 生体機能学実験 / 救急集中治療学実験 / 薬物動態制御学実験 / 記憶成立と記憶障害の薬理学実験 / 口腔生理学実験 / 歯科生体材料学実験 / 固定性歯科補綴治療学実験 / 口腔顎顔面形態・機能再建学実験 / 歯科保存学実験 / 歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学実験 / 顎顔面腫瘍発生病態解析学実験 / 口腔顎顔面外科学実験 / 歯科全身機能管理制御学実験 / 腫瘍病態病理学実験 / 放射線診断治療学実験 / 泌尿器系腫瘍学実験 / 分子腫瘍学実験 / 口腔腫瘍発生論実験 / 口腔腫瘍治療学・診断学実験 / 心臓血管外科学実験 / 呼吸器外科学実験 / 腫瘍制御学実験 / 小児外科学実験 / 異種移植外科免疫学実験 / 血液腫瘍学実験 / がん診療医学実験 / 総合救命救急医学 I 実習 / 新生児病学実習 / 総合がん診療医学 I 実習 / 総合診療学における循環器病学実習 / 先端がん医療学実習</p>				3)
	<p>2)</p>								
<p>5)</p>								4)	
<p>6)</p>									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義								1)
	■共通コア科目（選択必修） 科学倫理学基礎論								
	■共通コア科目（選択） 医療者教育学入門 / 生命科学英語 / Life Science English / Immunobiology / 細胞増殖制御 / 皮膚分子・病態学								
	■共通先端科目 臨床疫学 / 医療情報・統計学 / 咬合育成論A / 咬合育成論B / 先端分子細胞医科学 / 歯科応用薬理学（1） / 顎機能補綴学 / 顎口腔機能再建学（1） / 顎口腔機能再建学（2） / 顎口腔機能再建学（3） / う蝕制御学 / 歯髓生物学 / 口腔疾患病態学 / 口腔顎顔面外科学（1） / 歯科麻酔学概論 / バイオインフォマティクスと医学研究 / 分子腫瘍学（1）								
	■共通先端科目 データ解析演習 / 遺伝子操作法実習 / 生体材料学実習								
	■専門基礎科目 予防歯科学 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周病学 / 顎顔面疾患制御学 / 口腔顎顔面外科学（2） / 歯科麻酔全身管理学 / 顎顔面放射線学								
6)	■専門科目（演習） 口腔顎顔面形態・機能再建学演習 / 歯科保存学演習 / 歯周疾患分子病態学、分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学演習 / 顎顔面腫瘍発生病態解析学演習 / 口腔顎顔面外科学演習 / 歯科全身機能管理制御学演習 / 口腔腫瘍治療学・診断学演習								2)
3)	■共通コア（選択必修） 医歯学倫理学 / Ethics and Science				■専門科目（臨床修練） 口腔顎顔面補綴学臨床修練 / 歯科保存学臨床修練 / 歯周病臨床修練 / 顎顔面疾患制御学臨床修練 / 口腔顎顔面外科学臨床修練 / 歯科麻酔全身管理学臨床修練 / 顎顔面放射線学臨床修練				3)
4)									4)
2)									
5)									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	<p>■共通コア科目 (必修) Medical and Dental research lectures</p>								
	<p>■共通コア科目 (選択) Introduction to Scientific Writing / Life Science English / ニューロサイエンス / ウイルス感染症の基礎と臨床</p>								
	<p>■共通先端科目 Data analysis / Bioinformatics and medical research / Internship / ウイルス感染症の研究講義</p>								
	<p>■共通先端科目 ニューロサイエンス実習</p>								
3)	<p>■専門基礎科目 消化器病学・生活習慣病学 / 糖尿病・内分泌内科学 / 疫学 / 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 法医学特講 / 精神医学概論特講 / 行動医学 / 医療者教育学 I / 歯科医療行動科学 / 微生物学特講 / 免疫学特論 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テック / ロジー / HTLV-1病学 / 分子生化学演習 / 生殖病態生理学 / 小児科学 / 小児病態学 / 小児発達病態学 / 口腔分子細胞学 / 細菌学特講 / 口腔保健推進学 / 口腔マネージメントによる口腔衛生と感染制御 / 顎顔面咬合育成学 / 小児歯科学概論 / 離島医療学特論 I / 機能形態学基礎 / 脳科学 / 顎顔面神経解剖学 / 顎顔面生体力学 / 脳神経発達特論 / 視覚形態・機能学 / 視覚分子・病態学 / 皮膚形態・機能学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 機能形態学 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 分子病態学 / 遺伝子治療・再生医学 / 感覚運動機能疾患制御学 / リハビリテーション医学 / 血管代謝病態解析学 / 心臓血管内科学 / 循環器内科学 / 呼吸器内科学 / 統合分子生理学 / 分子情報薬理学 / 侵襲制御学 / 侵襲制御学 2 / 侵襲制御学 3 / 救急集中治療医学特論 I / 救急集中治療医学特論 II / 薬物動態制御学 / 歯科応用薬理学 (2) / 口腔生理学 / 生体材料学 / 口腔顎顔面補綴学 / 歯科保存学 / 歯周疾患制御学 / 顎顔面腫瘍制御学 / 口腔顎顔面外科学 (2) / 歯科全身管理学 / 放射線診断治療学 / 泌尿器系腫瘍学 / 顎顔面腫瘍病理学 / 顎顔面放射線学 / 心臓血管外科学 / 呼吸器外科学 / 腫瘍制御学 / 小児外科学 / 血液腫瘍学 I / 血液腫瘍学 II / がん診療医学 I / がん診療医学 II / 先端がん医療学 / 神経生物学原理 / 疾病発症機構と予防論 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレーショナルメディスン</p>								
	<p>■共通コア (選択必修) Ethics and Science</p>								
4)	<p>■専門科目 (演習) 機能形態学演習 / 神経筋生理学演習 / 神経疾患学・老年病学演習 / 脳神経外科学演習 / 顎顔面に係わる神経の機能形態学演習 / 顎顔面口腔領域の内眼解剖学演習 / 法医学の理論と実践演習 / 眼科病態学演習 / 皮膚病態解析学演習 / 上気道病態学演習 / 遺伝子治療・再生医学演習 / 感覚運動機能疾患制御学演習 / リハビリテーション医学演習 / 血管代謝病態解析学演習 / 循環器疾患学演習 / 呼吸器病学演習 / 統合分子生理学演習 / 分子神経生物学演習 / 生体情報薬理学演習 / 生体機能学演習 / 救急集中治療医学演習 / 薬物動態制御学演習 / 記憶成立と記憶障害の薬理学演習 / 口腔生理学演習 / 歯科生体材料学演習 / 固定性歯科補綴治療学演習 / 口腔顎顔面形態・機能再建学演習 / 歯科保存学演習 / 歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学演習 / 顎顔面腫瘍発生病態解析学演習 / 口腔顎顔面外科学演習 / 歯科全身機能管理制御学演習 / 腫瘍病態病理学演習 / 放射線診断治療学演習 / 泌尿器系腫瘍学演習 / 分子腫瘍学演習 / 口腔腫瘍発生論演習 / 口腔腫瘍治療学・診断学演習 / 心臓血管外科学演習 / 呼吸器外科学演習 / 腫瘍制御学演習 / 小児外科学演習 / 異種移植外科免疫学演習 / 血液腫瘍学演習 / がん診療医学演習 / 総合救命救急医学 I 演習 / 新生児病学演習 / 総合がん診療医学 I 演習 / 総合診療学における循環器病学演習</p>								
	<p>■専門科目 (実験) 機能形態学実験 / 神経筋生理学実験 / 神経疾患学実験 / 脳神経外科学実験 / 顎顔面に係わる神経の機能形態学実験 / 顎顔面口腔領域の内眼解剖学実験 / 法医学の理論と実践実験 / 眼科病態学実験 / 皮膚病態解析学実験 / 上気道病態学実験 / 遺伝子治療・再生医学実験 / 感覚運動機能疾患制御学実験 / リハビリテーション医学実験 / 血管代謝病態解析学実験 / 循環器疾患学実験 / 呼吸器病学実験 / 統合分子生理学実験 / 分子神経生物学実験 / 生体情報薬理学実験 / 生体機能学実験 / 救急集中治療医学実験 / 薬物動態制御学実験 / 記憶成立と記憶障害の薬理学実験 / 口腔生理学実験 / 歯科生体材料学実験 / 固定性歯科補綴治療学実験 / 口腔顎顔面形態・機能再建学実験 / 歯科保存学実験 / 歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学実験 / 顎顔面腫瘍発生病態解析学実験 / 口腔顎顔面外科学実験 / 歯科全身機能管理制御学実験 / 腫瘍病態病理学実験 / 放射線診断治療学実験 / 泌尿器系腫瘍学実験 / 分子腫瘍学実験 / 口腔腫瘍発生論実験 / 口腔腫瘍治療学・診断学実験 / 心臓血管外科学実験 / 呼吸器外科学実験 / 腫瘍制御学実験 / 小児外科学実験 / 異種移植外科免疫学実験 / 血液腫瘍学実験 / がん診療医学実験 / 総合救命救急医学 I 実習 / 新生児病学実習 / 総合がん診療医学 I 実習 / 総合診療学における循環器病学実習</p>								
2)									
5)									
6)									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基礎、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探求する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	<p>■共通コア科目 (必修) 医歯学研究講義</p>								1)
	<p>■共通コア科目 (選択) ニューロサイエンス</p>								
	<p>■共通先端科目 ニューロサイエンス実習</p>								
	<p>■専門基礎科目 消化器病学・生活習慣病学／糖尿病・内分泌内科学／精神医学概論特講／行動医学／機能形態学基礎／脳科学／顎顔面神経解剖学／脳神経発達特論／視覚形態・機能学／耳鼻咽喉科・頭頸部外科 機能形態学／感覚運動機能疾患制御学／リハビリテーション医学／統合分子生理学／分子情報薬理学／侵襲制御学／薬物動態制御学／口腔生理学</p>								
6)	<p>■専門科目 (演習) 機能形態学演習／神経筋生理学演習／神経疾患学・老年病学演習／脳神経外科学演習／顎顔面に係わる神経の機能形態学演習／顎顔面口腔領域の内眼解剖学演習／法医学の理論と実践演習／眼科病態学演習／皮膚病態解析学演習／上気道病態学演習／遺伝子治療・再生医学演習／感覚運動機能疾患制御学演習／リハビリテーション医学演習／血管代謝病態解析学演習／循環器疾患学演習／呼吸器病学演習／統合分子生理学演習／分子神経生物学演習／生体情報薬理学演習／生体機能学演習／救急集中治療医学演習／薬物動態制御学演習／記憶成立と記憶障害の薬理学演習／口腔生理学演習／歯科生体材料学演習／固定性歯科補綴治療学演習／口腔顎顔面形態・機能再建学演習／歯科保存学演習／歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学演習／顎顔面腫瘍発生病態解析学演習／口腔顎顔面外科学演習／歯科全身機能管理制御学演習／腫瘍病態病理学演習／放射線診断治療学演習／泌尿器系腫瘍学演習／分子腫瘍学演習／口腔腫瘍発生論演習／口腔腫瘍治療学・診断学演習／心臓血管外科学演習／呼吸器外科学演習／腫瘍制御学演習／小児外科学演習／異種移植外科免疫学演習／血液腫瘍学演習／がん診療医学演習／総合救命救急医学Ⅰ演習／新生児病学演習／総合がん診療医学Ⅰ演習／総合診療医学における循環器病学演習</p>								2)
	<p>■専門科目 (実験) 機能形態学実験／神経筋生理学実験／神経疾患学実験／脳神経外科学実験／顎顔面に係わる神経の機能形態学実験／顎顔面口腔領域の内眼解剖学実験／法医学の理論と実践実験／眼科病態学実験／皮膚病態解析学実験／上気道病態学実験／遺伝子治療・再生医学実験／感覚運動機能疾患制御学実験／リハビリテーション医学実験／血管代謝病態解析学実験／循環器疾患学実験／呼吸器病学実験／統合分子生理学実験／分子神経生物学実験／生体情報薬理学実験／生体機能学実験／救急集中治療医学実験／薬物動態制御学実験／記憶成立と記憶障害の薬理学実験／口腔生理学実験／歯科生体材料学実験／固定性歯科補綴治療学実験／口腔顎顔面形態・機能再建学実験／歯科保存学実験／歯周疾患分子病態学・分子遺伝解析学および口腔硬組織再生学実験／顎顔面腫瘍発生病態解析学実験／口腔顎顔面外科学実験／歯科全身機能管理制御学実験／腫瘍病態病理学実験／放射線診断治療学実験／泌尿器系腫瘍学実験／分子腫瘍学実験／口腔腫瘍発生論実験／口腔腫瘍治療学・診断学実験／心臓血管外科学実験／呼吸器外科学実験／腫瘍制御学実験／小児外科学実験／異種移植外科免疫学実験／血液腫瘍学実験／がん診療医学実験／総合救命救急医学Ⅰ実習／新生児病学実習／総合がん診療医学Ⅰ実習／総合診療医学における循環器病学実習</p>								
3)	<p>■共通コア (選択必修) 医歯学倫理学</p>								3)
4)									4)
2)									
5)									

研究科カリキュラム・ポリシー

- 1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- 2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探求・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- 3) 研究を遂行するために必要な研究倫理および職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- 4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- 5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- 6) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

研究科ディプロマ・ポリシー

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

- 1) ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
- 2) 広い視野と高い倫理観および研究に対する強い責任感を有し、真理を探究する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
- 3) 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
- 4) ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

カリキュラム・マップ

CP	1年		2年		3年		4年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1)	■共通コア科目（必修） 医歯学研究講義／ウイルス感染症の基礎と臨床								1)
	■共通コア科目（選択） Introduction to Scientific Writing / 生命科学英語								
	■共通先端科目（必修） ウイルス感染症の研究講義								
	■共通先端科目（選択） データ解析演習 / バイオインフォマティクスと医学研究								
	■専門基礎科目 難治性血液免疫疾患病態制御学 / 微生物学特講 / 免疫学特論 / 疫学入門 / 抗ウイルス療法学 / ウイルス情報テクノロジー / HTLV-I病学 / HTLV-1/ATL病態制御学 / トランスレーショナルメディスン								
6)	■専門科目（演習） 血管代謝病態解析学演習 / 難治性血液免疫疾患病態制御学演習 / 微生物学演習 / 免疫学演習 / 疫学・予防医学演習 / 抗ウイルス療法学演習 / ウイルス情報テクノロジー演習 / 神経免疫学演習 / HTLV-1/ATL病態制御学演習								2)
3)					■専門科目（実験） 血管代謝病態解析学実験 / 難治性血液免疫疾患病態制御学実験 / 微生物学実験 / 免疫学実験 / 疫学・予防医学実験 / 抗ウイルス療法学実験 / ウイルス情報テクノロジー実験 / 神経免疫学実験 / HTLV-1/ATL病態制御学実験				3)
	■専門科目（演習） 医歯学倫理学								
4)									
2)									
5)									4)